

郷土樹種をつかった森の再生

この数年、森と川と海の生態的つながりが認識され、森林の再生が注目されていますが、植林運動を効果的に実施するためには、その地域本来の林相を踏まえて樹種を選択する必要があります。そこで、私たちは豊浦町漁協婦人部が植林を実施している胆振貫気別川流域で、現存する森林の林相調査を行い、同時に農家の方約40名に戦前から終戦頃の林相について聞き取り調査をしました。

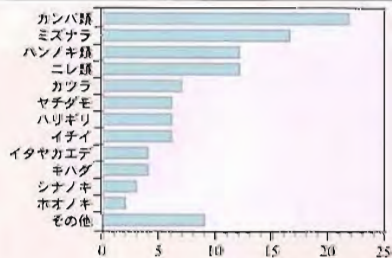


農家の方からは、開墾時の林相としてミズナラ、カンバ類、ハルニレ、カツラ、ヤチダモ、ハリギリ、イタヤカエデなど北海道の代表的落葉広葉樹が回答されましたが、現在でもほぼ同じ林相が残されていることがわかりました。

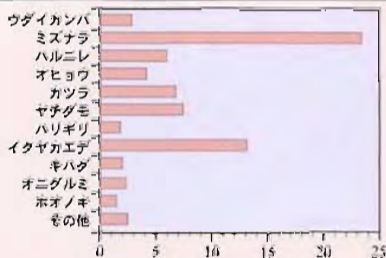
しかし、イチイだけは昔はたくさんあったと回答されたにもかかわらず、残存林には見られませんでした。

このように、地元住民からの情報収集や残存林の調査から、郷土の森林を把握することができます。どんな木を植えたらよいかかわからない、といった声に対応する手段として簡易かつ有効といえます。

(立地科)



聞き取り調査から得た貫気別川流域の戦前～終戦直後の林相



胸高断面積合計 (m²/ha)
平成9年に調査した貫気別川流域の斜面～溪畔林の林相



グリーンダイヤルは
あなたのダイヤルです。

「山づくり」や「緑を育てる」質問・相談をお受けしています。
お気軽に電話してください。すばやく、詳細な情報をお届けします。



連絡先

林業試験場 本場 TEL01266-3-4164 FAX01266-3-4166
道南支場 TEL0138-47-1024 FAX0138-47-1024
道東支場 TEL01566-4-5434 FAX01566-4-5434
道北支場 TEL01656-7-2164 FAX01656-7-2164
ホームページ <http://www.hfrj.bibai.hokkaido.jp/>

発行年月 平成10年9月

発行 北海道立林業試験場
〒079-0198 美幌市光珠内町東山